



I 第29週の発生動向 (2025/7/14~2025/7/20)

1. 水痘については、東津軽+青森市保健所管内の注意報は解除となりました。
2. 伝染性紅斑については、三戸+八戸市保健所管内の警報は解除となりました。
3. 百日咳については、下北保健所管内を除く5保健所管内で患者が報告されており、特に中南保健所管内及び三戸+八戸市保健所管内の報告数が多くなっています。手洗い等の基本的な感染対策の徹底をお願いします。

※現在、国及び国立健康危機管理研究機構が警報・注意報の基準値について確認を進めているところですが、県の週報に記載する発生動向では、当面の間、従前の基準値を用いて注意喚起を行います。

<感染症の窓>

今週のテーマは「手足口病」です。

最終ページに掲載しています。

II 第29週五類定点把握対象疾患

※記載データは、速報値です。

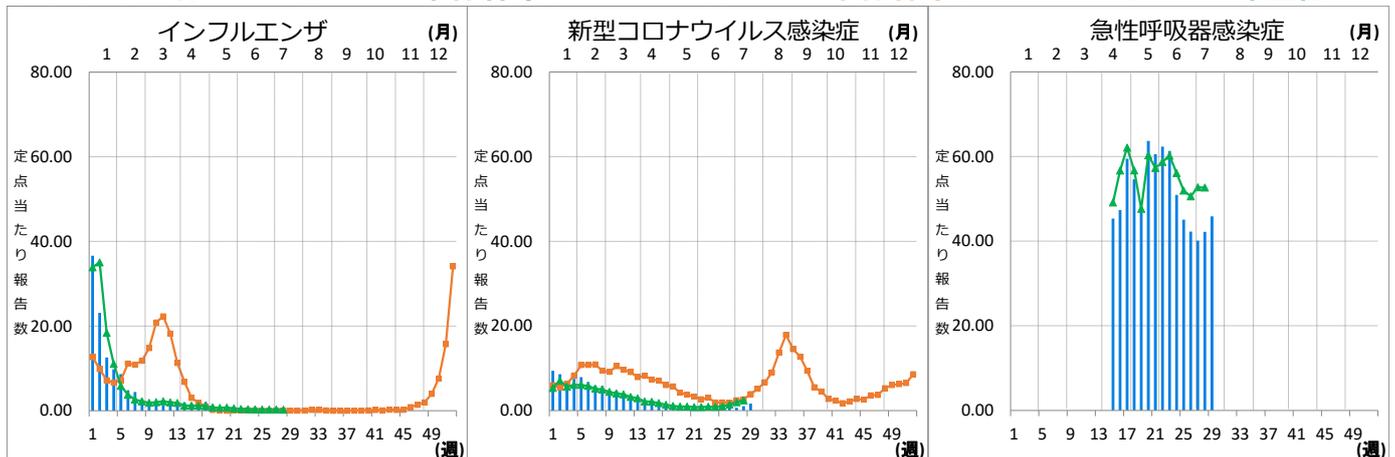
青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、警報・注意報については青森県の感染症発生状況 TOP ページをご覧ください。

は警報、は注意報。「空欄」：患者報告無し。

	東青 (東津軽+ 青森市保健所)		中南 (中南保健所)		三八 (三戸+ 八戸市保健所)		西北 (西北保健所)		上北 (上北保健所)		下北 (下北保健所)		青森県計		前週 からの 増減	
	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点		
急性 呼吸器 感染症	インフルエンザ	9	0.82							2	0.22	2	0.33	13	0.25	8
	新型コロナウイルス感染症	8	0.73	19	1.90	18	1.80	5	0.83	31	3.44	6	1.00	87	1.67	33
	急性呼吸器感染症	669	60.82	386	38.60	377	37.70	280	46.67	338	37.56	334	55.67	2384	45.85	189
小児科	RSウイルス感染症			2	0.33									2	0.06	2
	咽頭結膜熱	2	0.33	2	0.33	4	0.57							8	0.24	-1
	A群溶血性レンガ球菌咽頭炎	1	0.17	7	1.17	6	0.86	3	0.60			5	1.25	22	0.65	3
	感染性胃腸炎	20	3.33	24	4.00	48	6.86	9	1.80	1	0.17			102	3.00	-4
	水痘			3	0.50	4	0.57			1	0.17			8	0.24	-3
	手足口病	2	0.33	3	0.50	1	0.14							6	0.18	-2
	伝染性紅斑	1	0.17	1	0.17	4	0.57			1	0.17			7	0.21	-4
	突発性発しん	1	0.17	2	0.33	4	0.57							7	0.21	-5
	ヘルパンギーナ			4	0.67	1	0.14					1	0.25	6	0.18	0
	流行性耳下腺炎			1	0.17			1	0.20					2	0.06	1
眼科	急性出血性結膜炎															0
	流行性角結膜炎															-2
基幹	感染性胃腸炎(ロタウイルス)															0
	クラミジア肺炎															0
	細菌性髄膜炎	1	1.00			1	1.00							2	0.33	1
	マイコプラズマ肺炎			1	1.00	1	1.00					5	5.00	7	1.17	-4
	無菌性髄膜炎															0

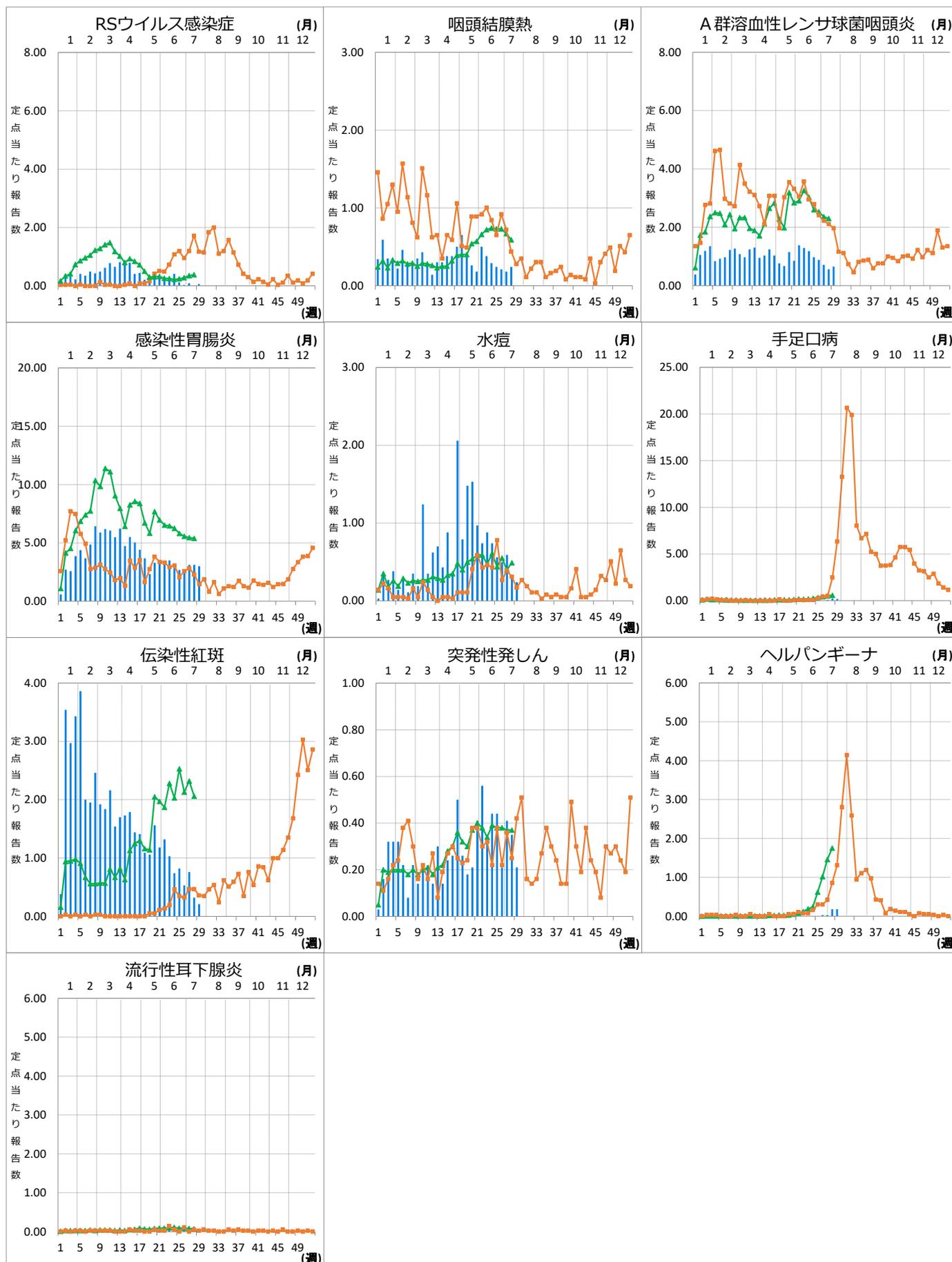
III 定点把握対象疾患週別推移 (急性呼吸器感染症定点) (2025年第29週、ただし全国は前週)

グラフの説明 は2025年青森県、 は2024年青森県、 は2025年全国



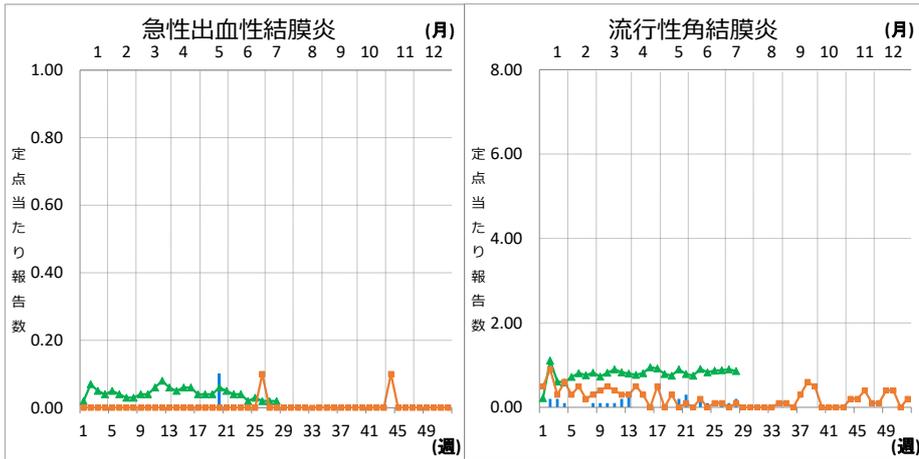
IV 定点把握対象疾患週別推移（小児科定点）（2025年第29週、ただし全国は前週）

グラフの説明 —は2025年青森県、■—■は2024年青森県、▲—▲は2025年全国



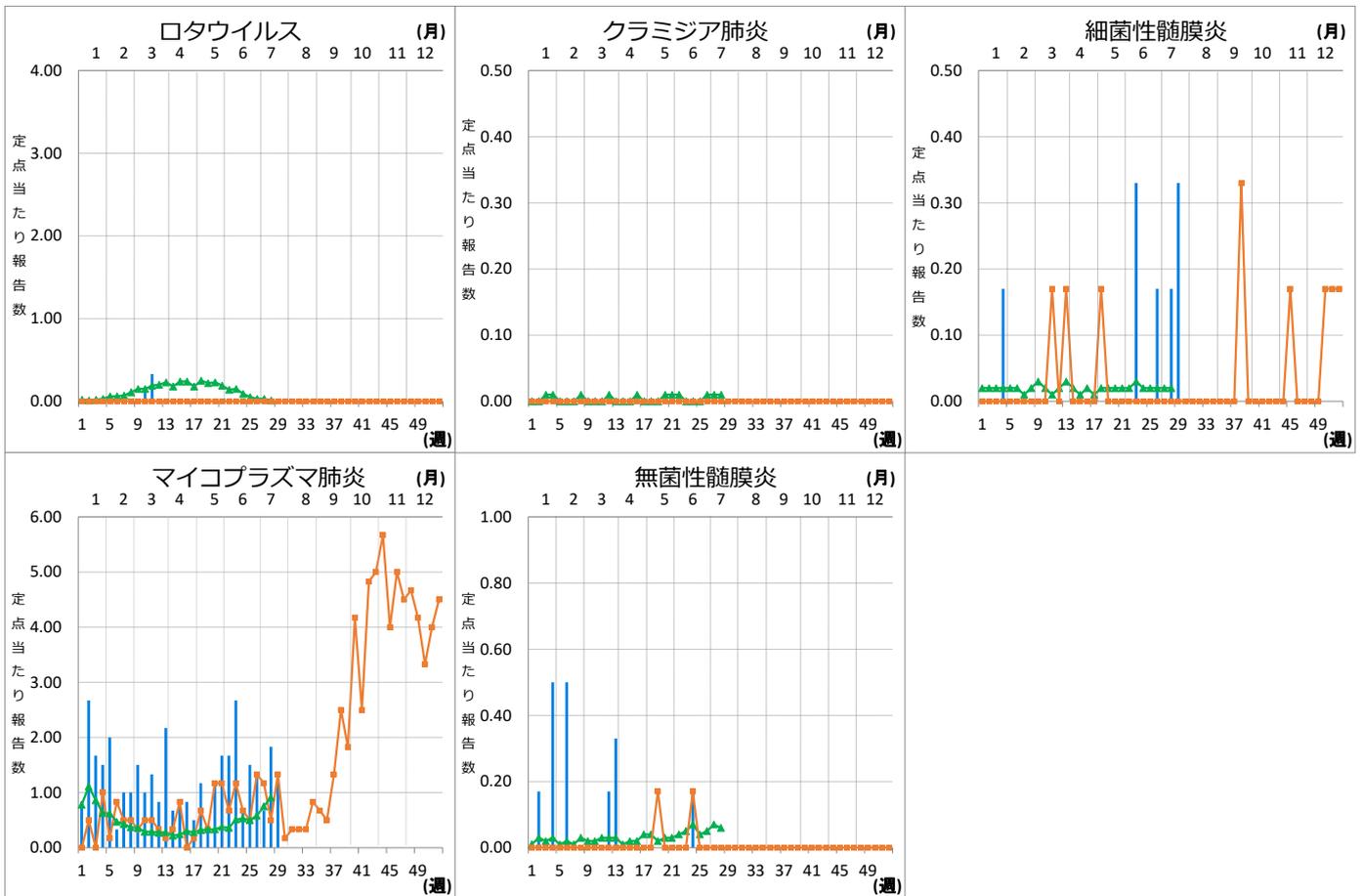
V 定点把握対象疾患週別推移（眼科定点）（2025年第29週、ただし全国は前週）

グラフの説明 —は2025年青森県、■—■は2024年青森県、▲—▲は2025年全国



VI 定点把握対象疾患週別推移（基幹定点）（2025年第29週、ただし全国は前週）

グラフの説明 —は2025年青森県、■—■は2024年青森県、▲—▲は2025年全国



## Ⅶ 急性呼吸器感染症 (ARI) 病原体検出情報

### (1) 急性呼吸器感染症病原体定点からの提出検体数及び結果判明分 (2025 年第 22~29 週)

急性呼吸器感染症	2025年							
	22週	23週	24週	25週	26週	27週	28週	29週
提出検体数	6	11	10	8	9	10	7	8
インフルエンザウイルスA	0	0	0	0	0	0	0	0
インフルエンザウイルスB	0	0	0	0	0	0	0	0
SARS-CoV-2	0	0	0	0	0	0	0	0
RSウイルスA	0	0	0	0	0	0	0	0
RSウイルスB	1	1	0	0	0	0	0	0
ヒトメタニューモウイルス	0	0	0	0	0	0	0	0
パラインフルエンザウイルス1	0	0	0	0	0	0	0	0
パラインフルエンザウイルス2	0	1	0	0	0	0	0	0
パラインフルエンザウイルス3	1	3	2	2	0	1	0	0
パラインフルエンザウイルス4	0	1	0	0	0	0	1	1
ライノ/エンテロウイルス	3	2	5	3	2	4	4	4
アデノウイルス	0	2	1	0	2	1	0	0
不検出	1	4	2	3	6	5	3	3
検査待ち	0	0	0	0	0	0	0	8

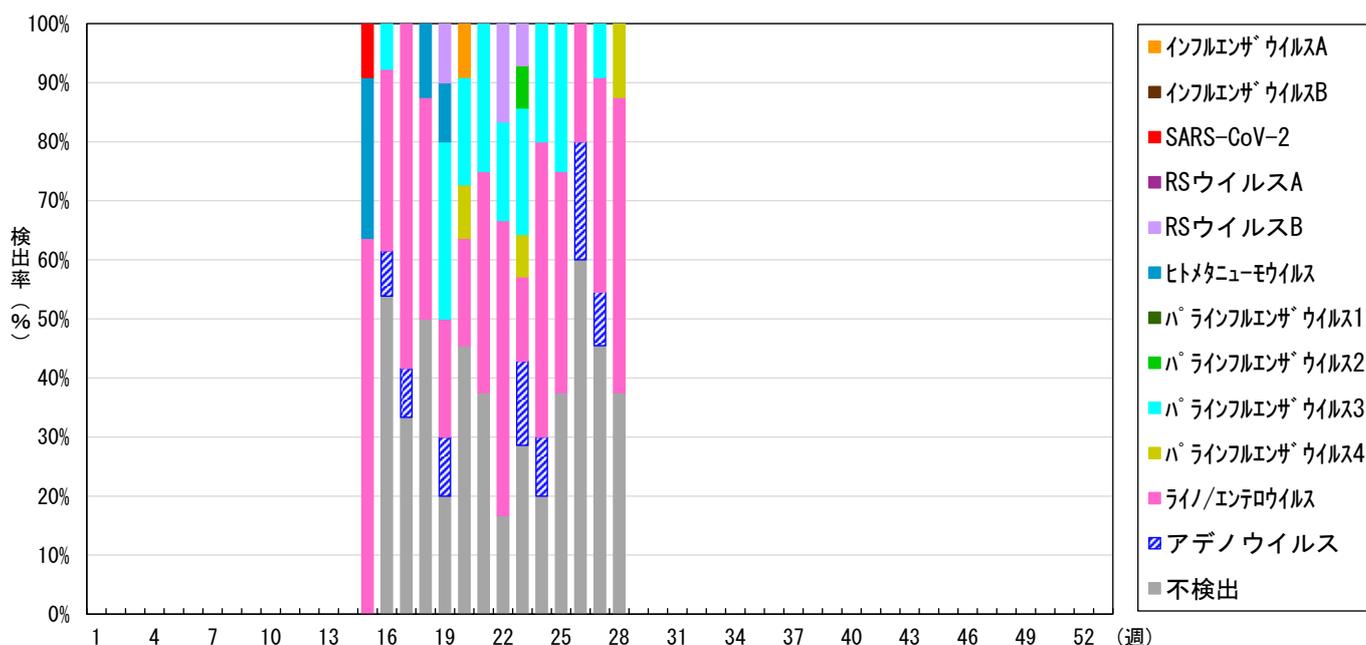
※第23週に提出された検体のうち、RSウイルスB、ヒトパラインフルエンザウイルス3及びアデノウイルスが重複して検出されたものが1検体、ヒトパラインフルエンザウイルス3及びアデノウイルスが重複して検出されたものが1検体ありました。

※第26週に提出された検体のうち、ライノ/エンテロウイルス及びアデノウイルスが重複して検出されたものが1検体ありました。

※第27週に提出された検体のうち、ライノ/エンテロウイルス及びアデノウイルスが重複して検出されたものが1検体ありました。

※第28週に提出された検体のうち、ヒトパラインフルエンザ4及びライノ/エンテロウイルスが重複して検出されたものが1検体ありました。

### (2) 検出された病原体の週別推移 (2025 年第 15 週~)



**Ⅶ 全数把握対象疾患発生状況（第 29 週）**

- ・結核（二類感染症）：青森市 1 人、上北 1 人 （2025 年計： 64 人）
- ・腸管出血性大腸菌感染症（三類感染症）：青森市 3 人、八戸市 1 人 （2025 年計： 14 人）
- ・レジオネラ症（四類感染症）：青森市 1 人 （2025 年計： 6 人）
- ・梅毒（五類感染症）：上北 1 人 （2025 年計： 14 人）
- ・百日咳（五類感染症）：青森市 2 人、中南 23 人、八戸市 9 人、西北 2 人、上北 1 人 （2025 年計： 576 人）

**Ⅸ 保健所管内別全数把握対象疾患発生状況（2025 年第 26 週～2025 年第 29 週）**

週	東青 (東津軽保健所+ 青森市保健所)	中南 (中南保健所)	三八 (三戸保健所+ 八戸市保健所)	西北 (西北保健所)	上北 (上北保健所)	下北 (下北保健所)
26	結核2人 腸管出血性大腸菌 感染症1人 つつが虫病1人 侵襲性肺炎球菌感 染症1人 百日咳1人	結核2人 百日咳11人	結核2人 百日咳10人	百日咳1人		
27	結核1人 百日咳2人	百日咳10人	百日咳7人	百日咳1人	腸管出血性大腸菌 感染症1人	
28	梅毒1人 百日咳1人	梅毒1人 百日咳11人	破傷風1人 百日咳6人	結核2人 百日咳1人	腸管出血性大腸菌 感染症1人	
29	結核1人 腸管出血性大腸菌 感染症3人 レジオネラ症1人 百日咳2人	百日咳23人	腸管出血性大腸菌 感染症1人 百日咳9人	百日咳2人	結核1人 梅毒1人 百日咳1人	

第 28 週に中南保健所管内で百日咳の届出が 1 件、西北保健所管内で百日咳の届出が 1 件ありましたので追加しました。

**X 全数把握対象疾患発生状況（全国-青森県）**（注：発生状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています）

**全国**（2025年第1週～第28週までの累計）

分類	二類	三類	三類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類
疾病名	結核	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エキノкокス症	エムボックス
累積報告数	7374	3	26	1166	17	3	326	78	16	1

分類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類
疾病名	オウム病	回帰熱	コクシジオイデス症	重症熱性血小板減少症候群	ダニ媒介脳炎	チクングニア熱	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱	ブルセラ症
累積報告数	8	4	4	110	2	10	98	78	263	1

分類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	五類	五類	五類	五類
疾病名	ポツリヌス症	マラリア	ライム病	類鼻疽	レジオネラ症	レプトスピラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	急性弛緩性麻痺
累積報告数	1	14	6	1	1181	4	252	128	727	13

分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	急性脳炎	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性髄膜炎菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘（入院例）
累積報告数	302	14	89	823	442	17	421	55	2355	378

分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	梅毒	播種性クリプトコックス症	破傷風	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	百日咳	風しん	麻しん	薬剤耐性アシネトバクター感染症
累積報告数	7441	93	41	51	48073	8	184	4

**青森県**（2025年第1週～第29週までの累計）

分類	二類	三類	四類	四類	四類	四類	五類	五類	五類	五類
疾病名	結核	腸管出血性大腸菌感染症	E型肝炎	つつが虫病	日本紅斑熱	レジオネラ症	アメーバ赤痢	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	急性脳炎	クロイツフェルト・ヤコブ病
累積報告数	64	14	1	13	1	6	1	6	1	3

分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	梅毒	破傷風	百日咳
累積報告数	5	1	3	14	14	1	576

**XI 病原体検出情報** ※（ ）内は、検査材料及び検体採取日報告はありませんでした。

## XII 社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑い含む）の発生状況

「社会福祉施設等における感染症等発生時に係る報告について」（平成18年2月22日付け厚生労働省健康局長、医薬食品局長、雇用均等・児童家庭局長、社会・援護局長通知）に基づく、青森県内の社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑いを含む）の報告件数及び発症者数は次のとおりです。

2025年第29週

報告週	施設種別	発症者数	管轄保健所
第29週	報告なし		

2025年報告件数及び発症者数

施設種別	月(週)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月			8月	9月	10月	11月	12月	計 (施設別)
		1-5週	6-9週	10-13週	14-17週	18-22週	23-26週	27週	28週	29週	30週	31週	32-35週	36-39週	40-44週	
介護・老人福祉関係施設	件数	1	4	4	4	1	0	0	0	0						14
	発症者数	7	70	69	78	11	0	0	0	0						235
児童・婦人関係施設等	件数	4	10	8	7	1	3	0	0	0						33
	発症者数	74	228	136	128	25	50	0	0	0						641
障がい関係施設	件数	0	2	2	1	1	0	0	1	0						7
	発症者数	0	37	25	10	5	0	0	11	0						88
その他施設	件数	0	0	0	0	0	1	0	0	0						1
	発症者数	0	0	0	0	0	10	0	0	0						10
計(月別)	件数	5	16	14	12	3	4			1						55
	発症者数	81	335	230	216	41	60			11						974

## 感染症の窓

手足口病は子どもを中心に、主に夏に流行するウイルス性の感染症です。38℃以下の軽い発熱、食欲不振、のどの痛みなどから始まり、発熱から2日ほどで手足や口の中に水疱性の発疹が見られます。発疹は、おしりやひじ、ひざにでることもあります。

2024年から2025年現在までの手足口病の定点当たり報告数の推移は図のとおりとなっています。2024年の青森県では、第31週の定点当たり報告数が20.68人/定点と、全国における第28週の定点当たり報告数13.36人/定点を上回りました。2025年第29週現在、全国及び青森県内の定点当たり報告数に大きな増加傾向はみられておりませんが、今後の動向に注意が必要です。

手足口病の主な感染経路は、飛沫感染と接触感染です。基本的感染対策のほか、手足口病が治った後も、数週間にとわり便からウイルスが排せつされるため、排せつ物は適切に処理し、石けんと流水でしっかりと手を洗きましょう。

手足口病に有効なワクチンや特異的な治療法はありませんが、発病しても軽い症状だけで経過することがほとんどです。しかし、まれに髄膜炎や脳炎などの合併症が起こる場合がありますので、子どもが罹患した場合は、経過観察をしっかりと行い、高熱、2日以上発熱、嘔吐、頭痛、視線が合わない、呼吸が速く息苦しそう、水分が取れずおしっこが出ないなどの症状がみられた場合は、すぐに医療機関を受診しましょう。

○詳しい情報はこちらをご覧ください。☞ [手足口病\(厚生労働省 HP\)](#)



### 手足口病

